

# 全道3月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和5年2月13日  
警察本部交通企画課

## 【概況】

- 発生件数全体の事故類型では、人対車両が最も多く、次いで出会い頭が多い。  
死亡事故の事故類型では、人対車両が最も多く、次いで車両単独が多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、約5割がシートベルト非着用で、非着用のうち6割以上がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では、18時から20時が最も多く、次いで10時から12時が多い。
- 地形別では市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。
- 人対車両の第1当事者(車両)の違反別では、歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。  
年齢層別死傷者数では、65歳以上が最も多く、全体の約6割を占めている。  
道路横断中の死者のうち、歩行者側の8割以上に信号無視などの法令違反あり。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では10時から12時が最も多く、地形別では非市街地の発生が多く、全体の7割以上を占める。
- 正面衝突及び車両単独における第1当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢運転者が最も多く、次いで24歳以下の若年運転者が多い。
- 正面衝突及び車両単独におけるスリップ事故の時間帯別では、10時から12時が最も多く、次いで8時から10時が多い。

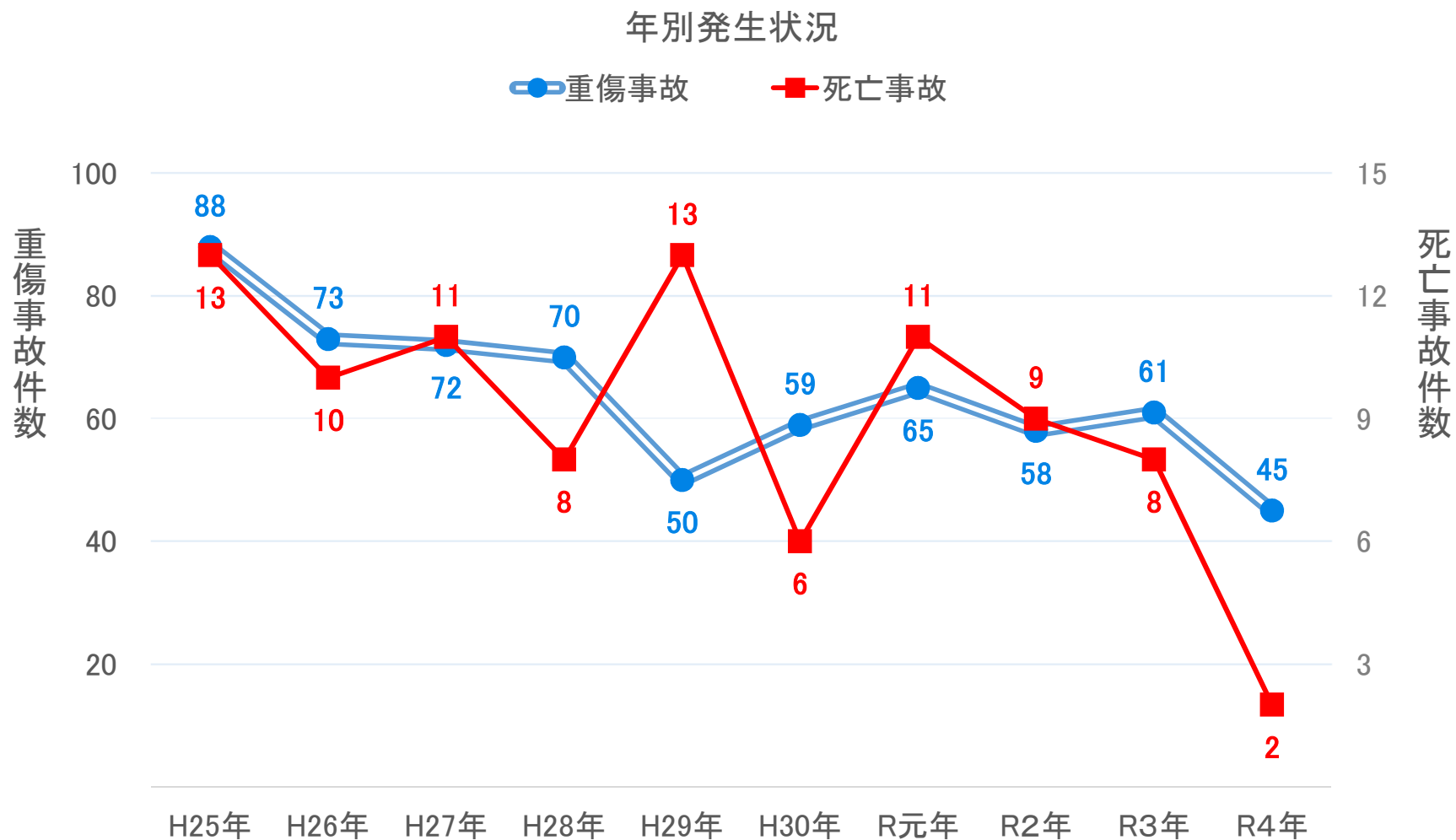
注1 本資料は、令和4年9月末日までに入手した3月中発生 of 事故データにより作成したものである。

注2 「重傷」とは、1か月(30日)以上の治療を要する負傷をいう。

注3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

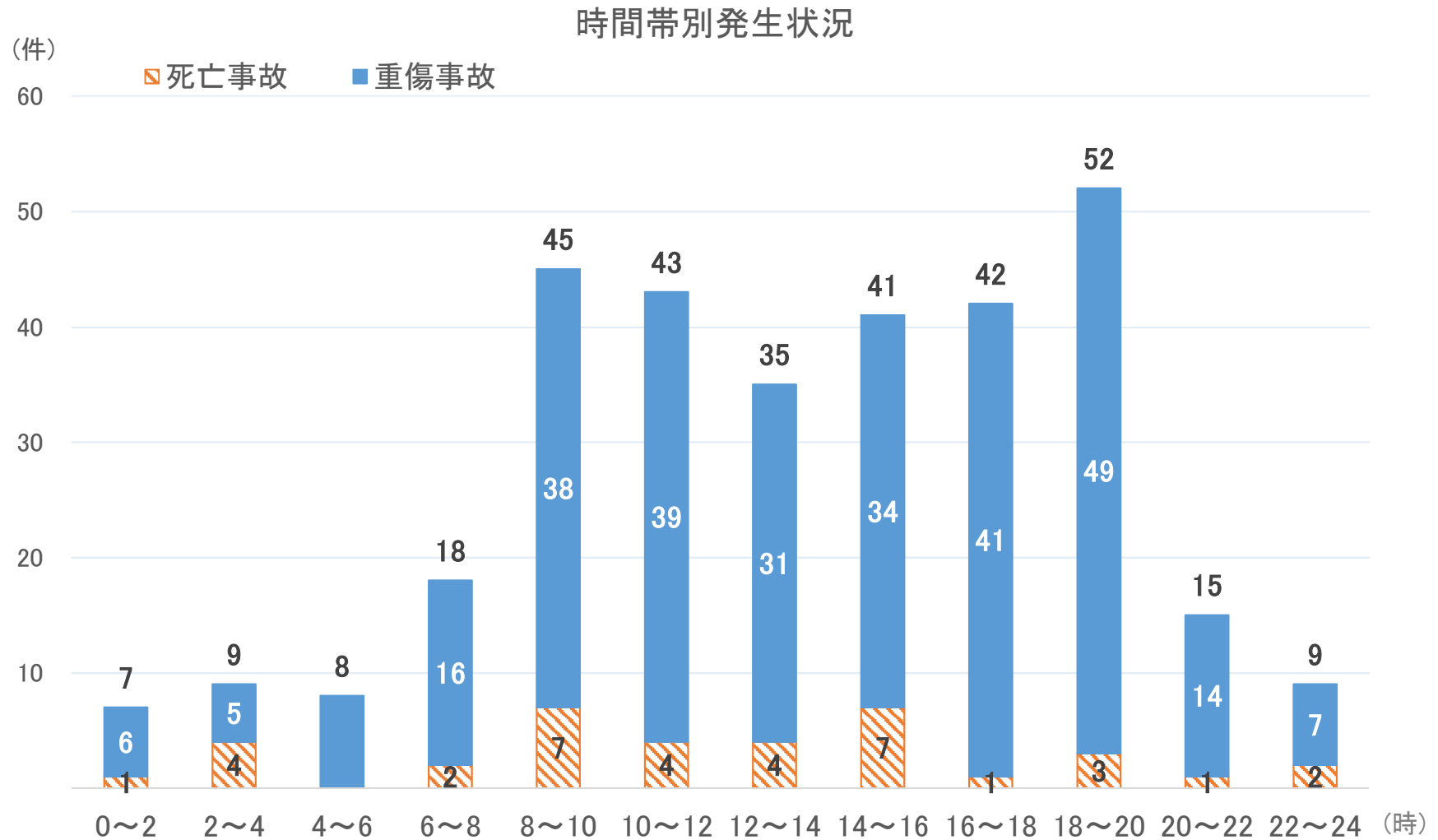
## 1-1 年別死亡・重傷事故発生状況

年別の死亡事故件数、重傷事故件数は、増減を繰り返しながら減少傾向で推移しており、令和4年は過去10年で最も少なかった。



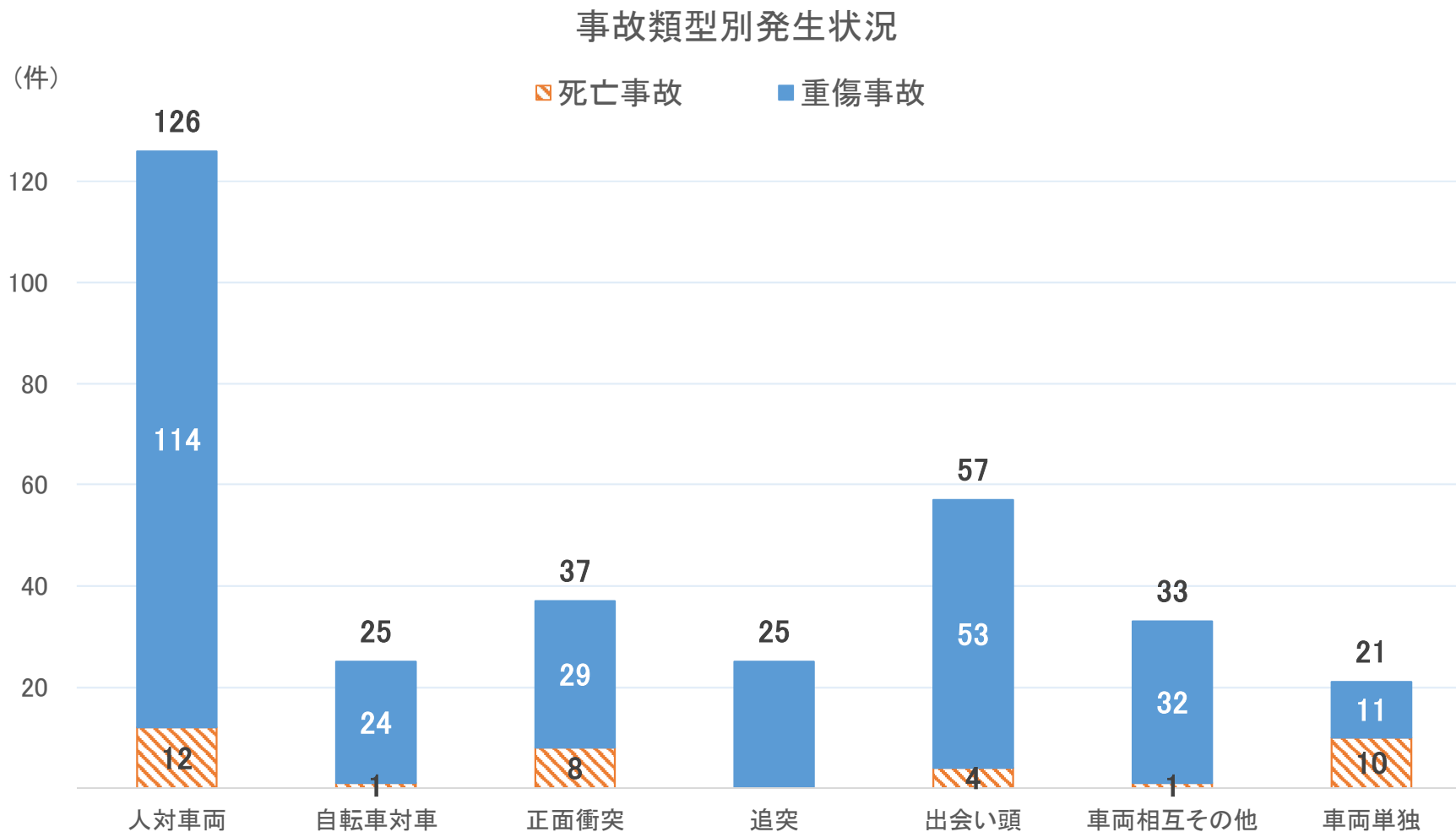
## 1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

18時～20時が最も多く、次いで8時～10時が多い。



### 1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

発生件数全体では、人対車両が最も多く、次いで出会い頭が多い。  
死亡事故は、人対車両が最も多く、次いで車両単独が多い。

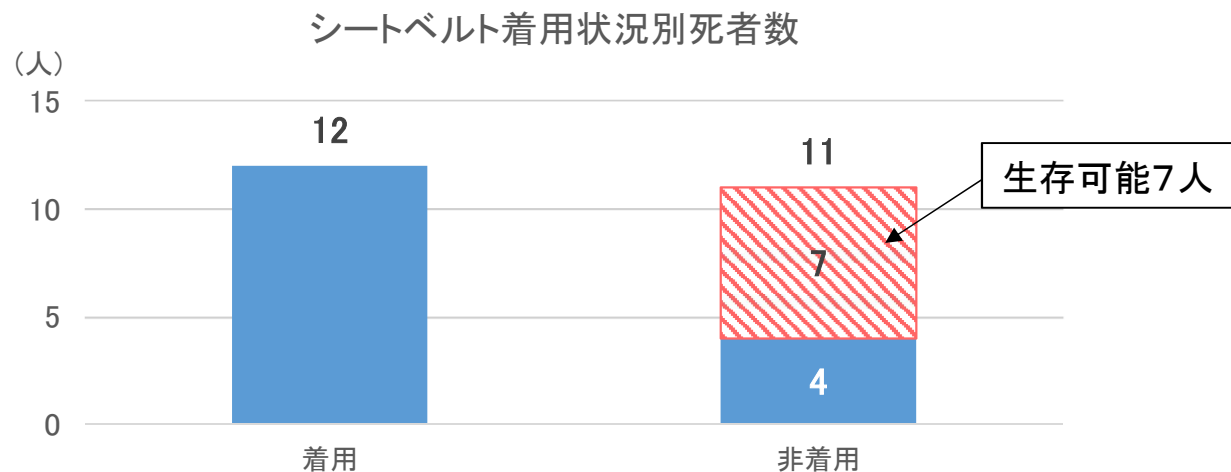


## 1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。

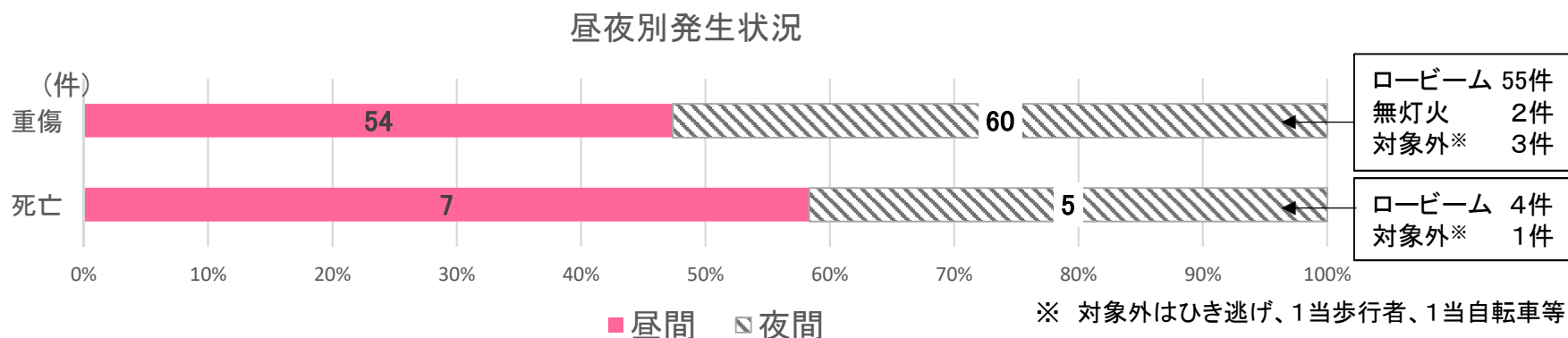
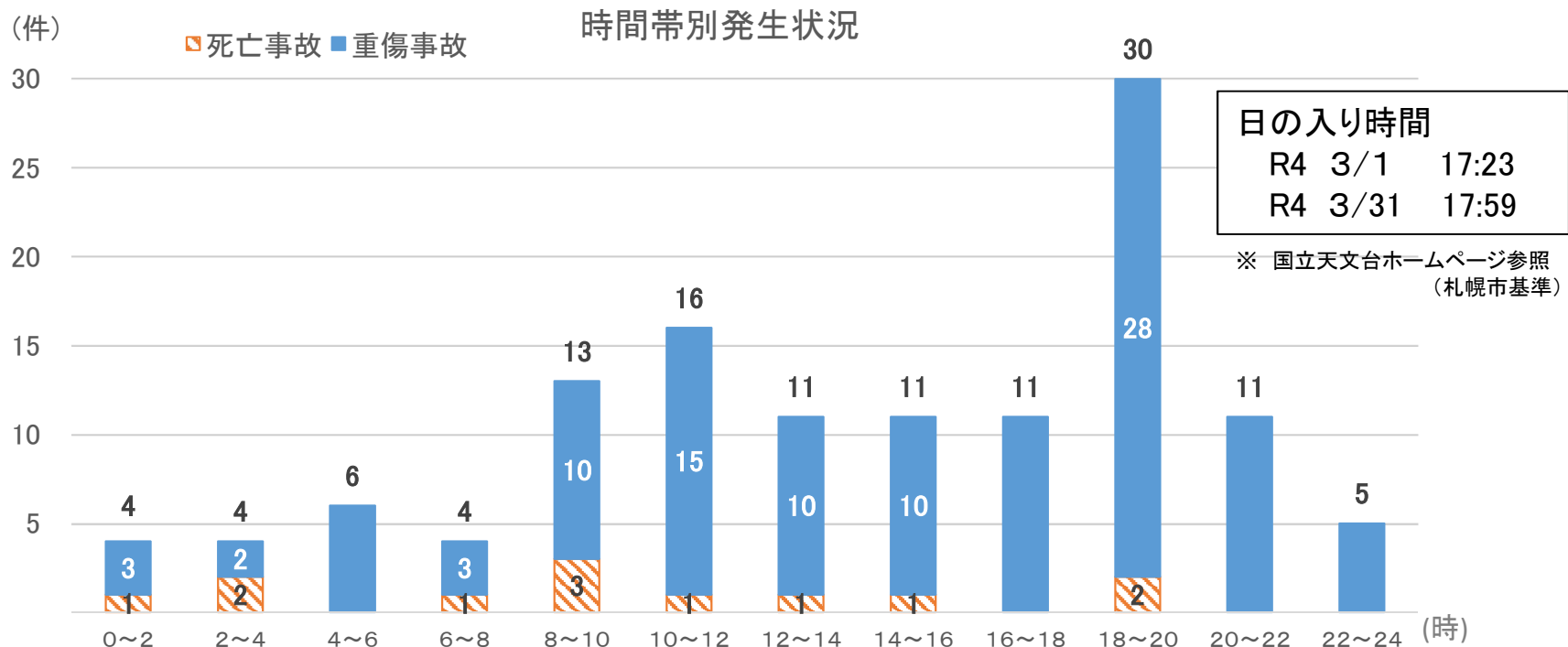


シートベルト着用対象者(四輪)の死者23人中、シートベルト非着用者は11人(47.8%)であり、このうち7人(63.6%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



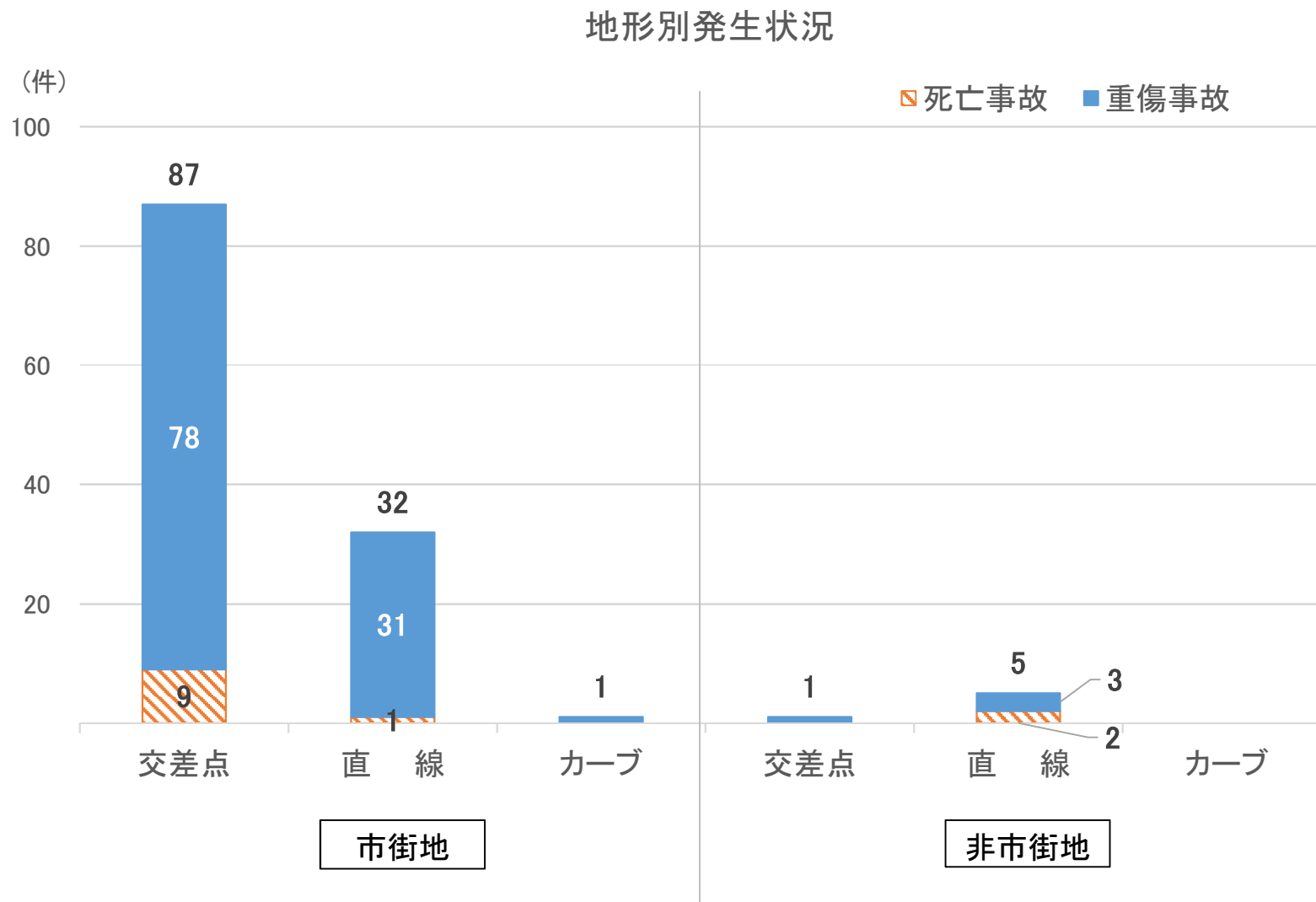
## 2-1 人対車両における時間帯別発生状況

18時～20時が最も多く、次いで10時～12時が多い。  
死亡事故は、8時～10時が多い。



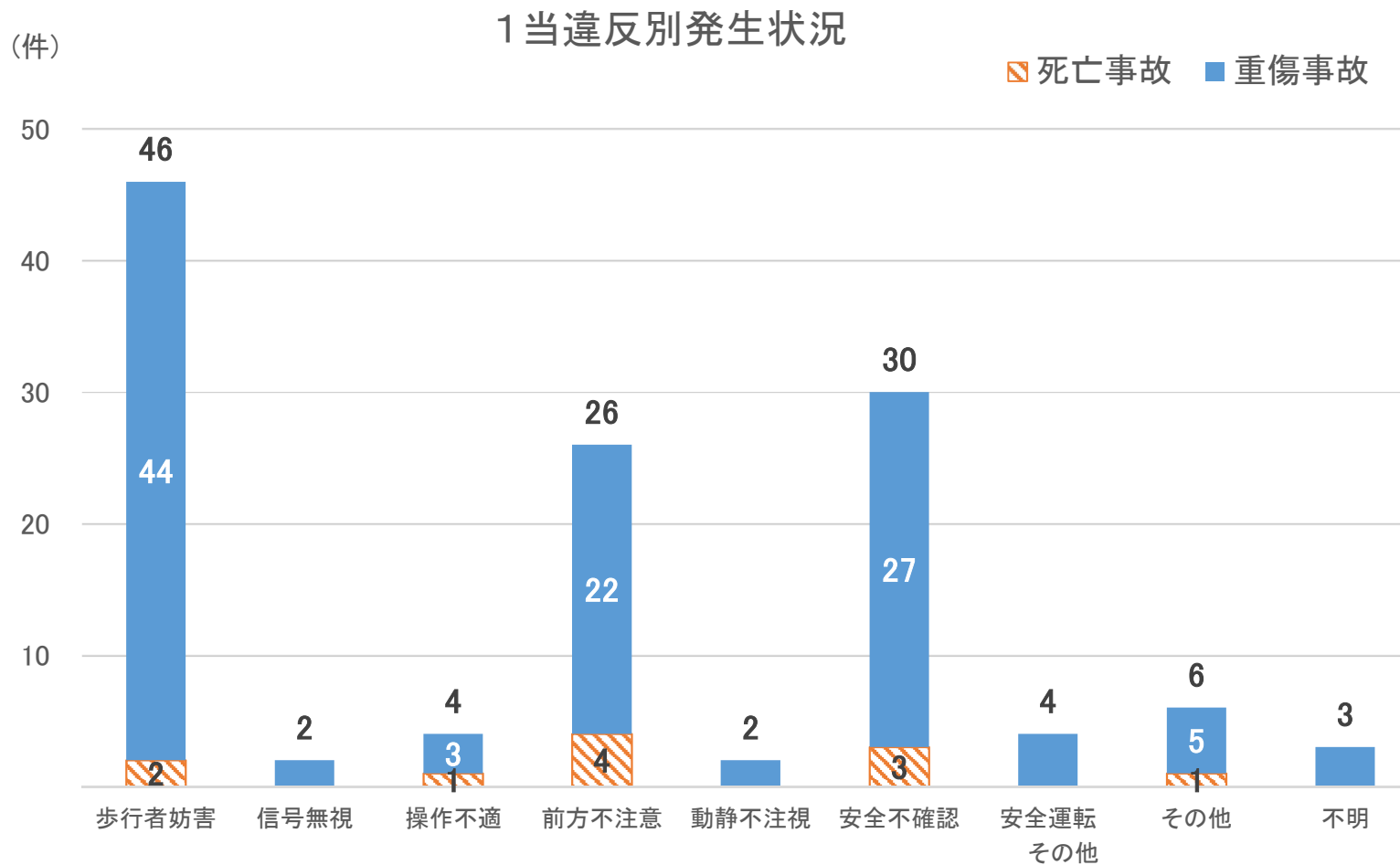
## 2-2 人对車両における地形別発生状況

市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。



## 2-3 人対車両における1当の違反別発生状況

歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。

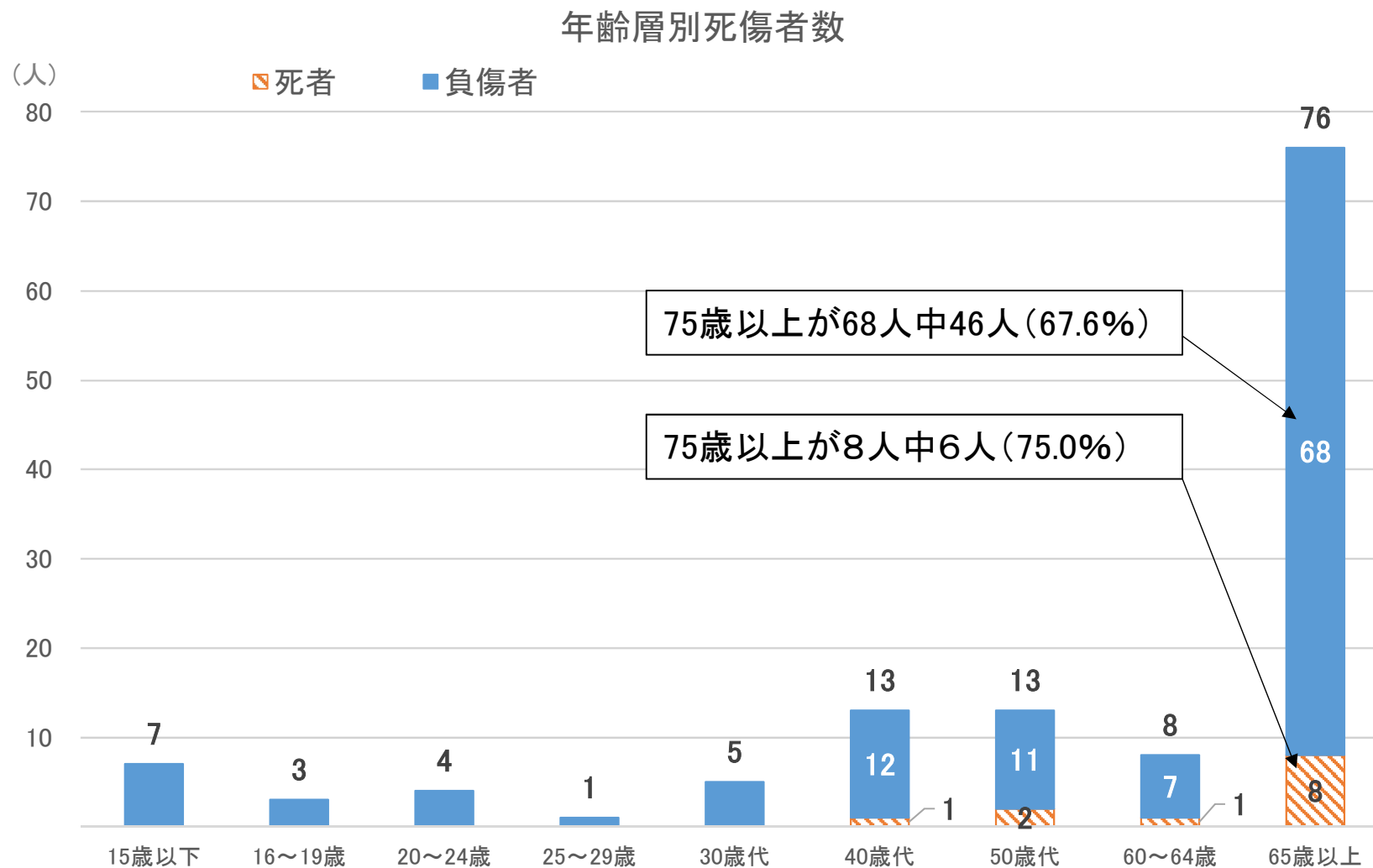


※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く



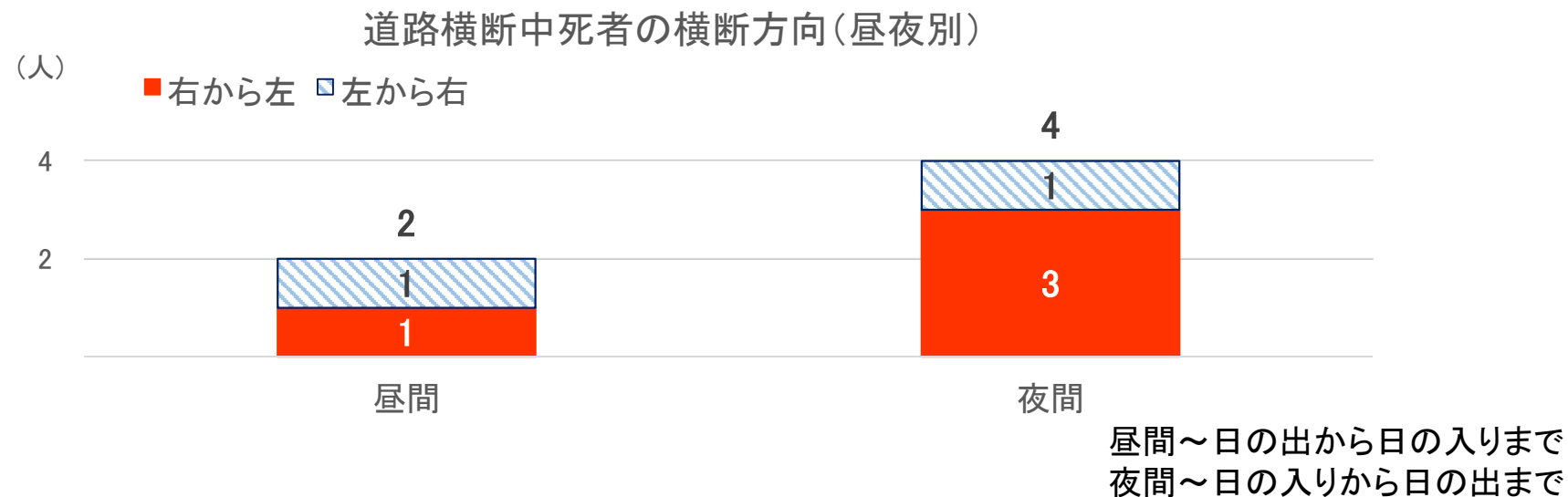
## 2-4 人対車両における年齢層別死傷者数

65歳以上が最も多く、全体の約6割を占めている。



## 2-5 人対車両における歩行者の横断方向別死者数・法令違反状況

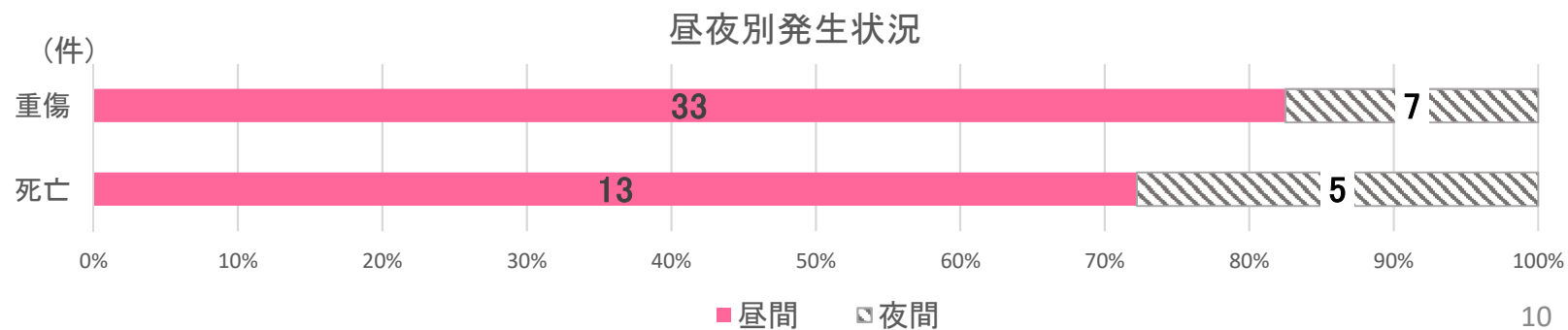
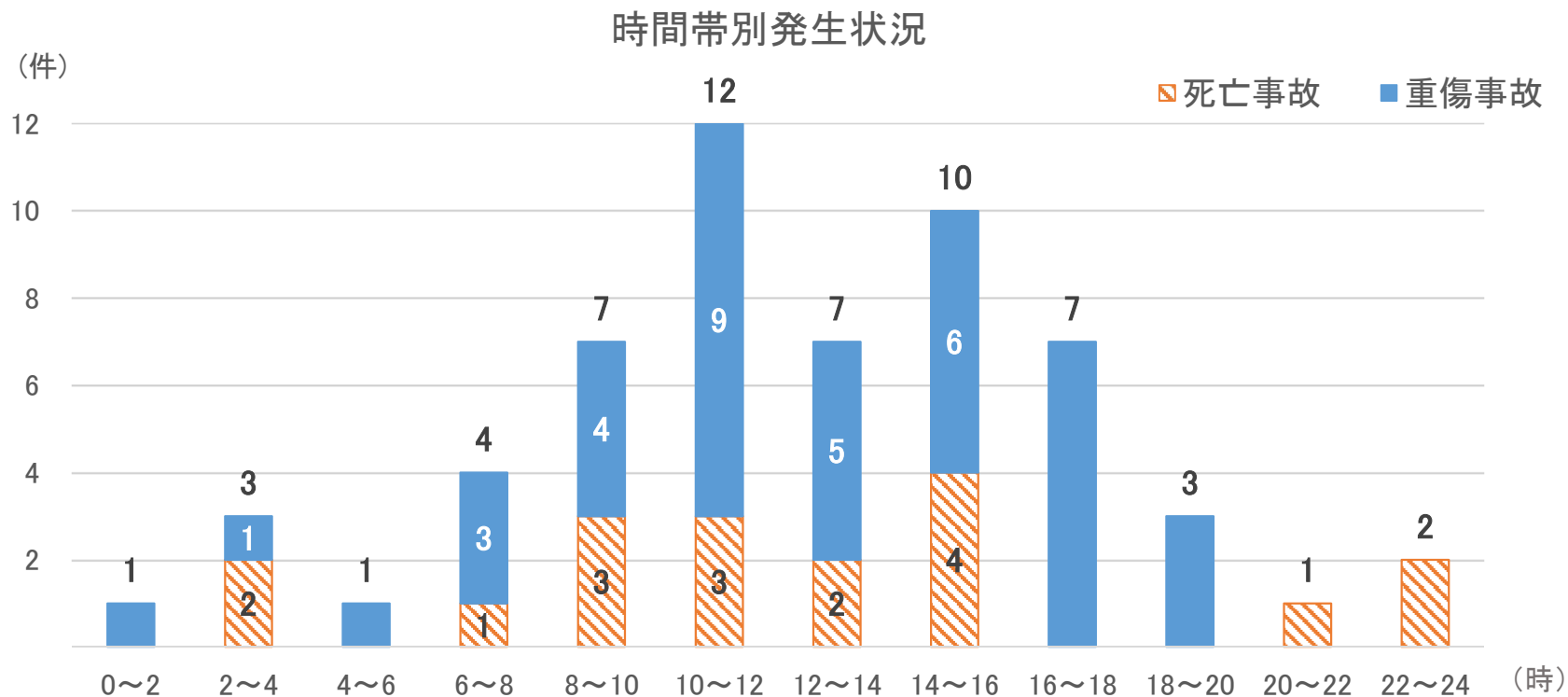
道路横断中の死者6人のうち、昼間が2人、夜間は4人となっており、夜間は右から横断中が多い。



道路横断中の死者6人のうち、信号無視などの「違反あり」が5人(83.3%)となっている。

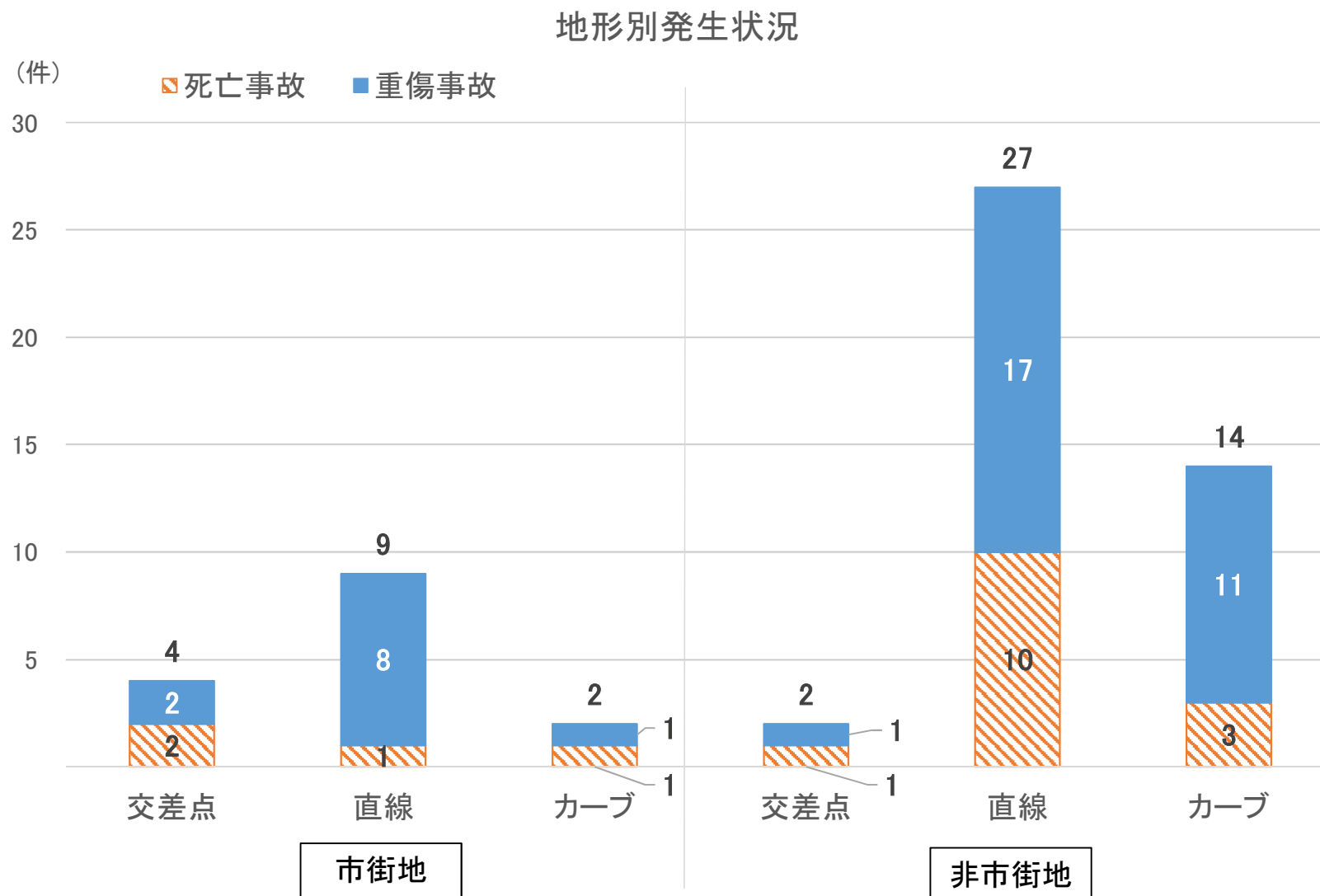
### 3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

10時～12時が最も多く、次いで14時～16時が多い。



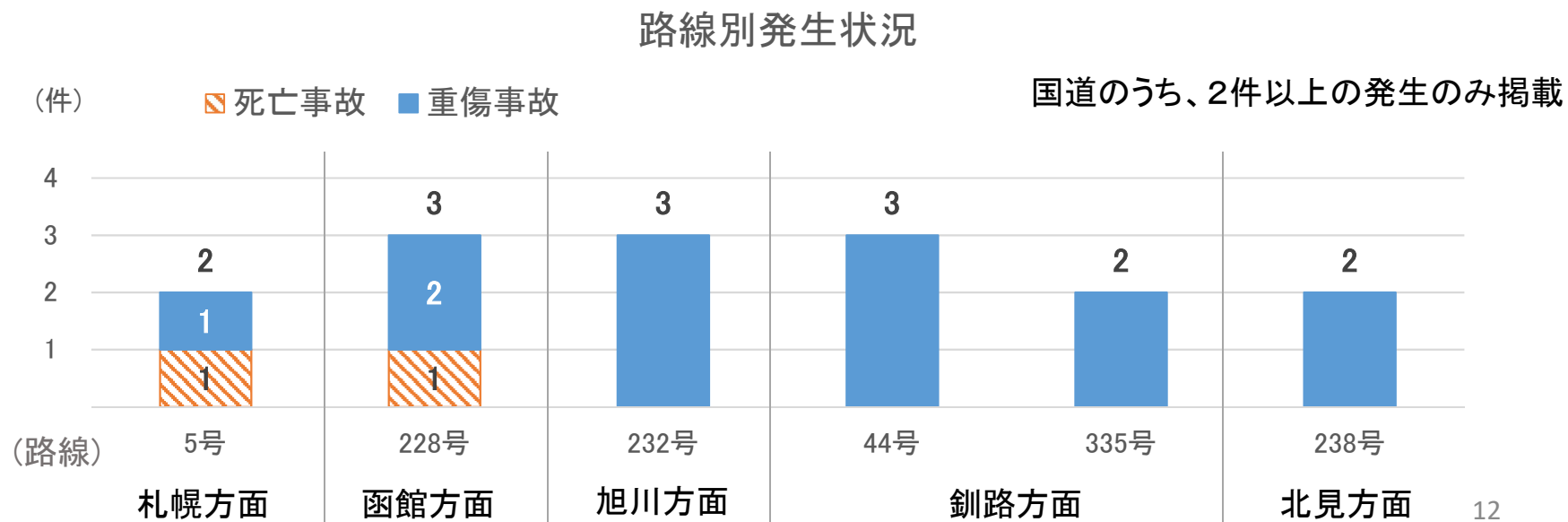
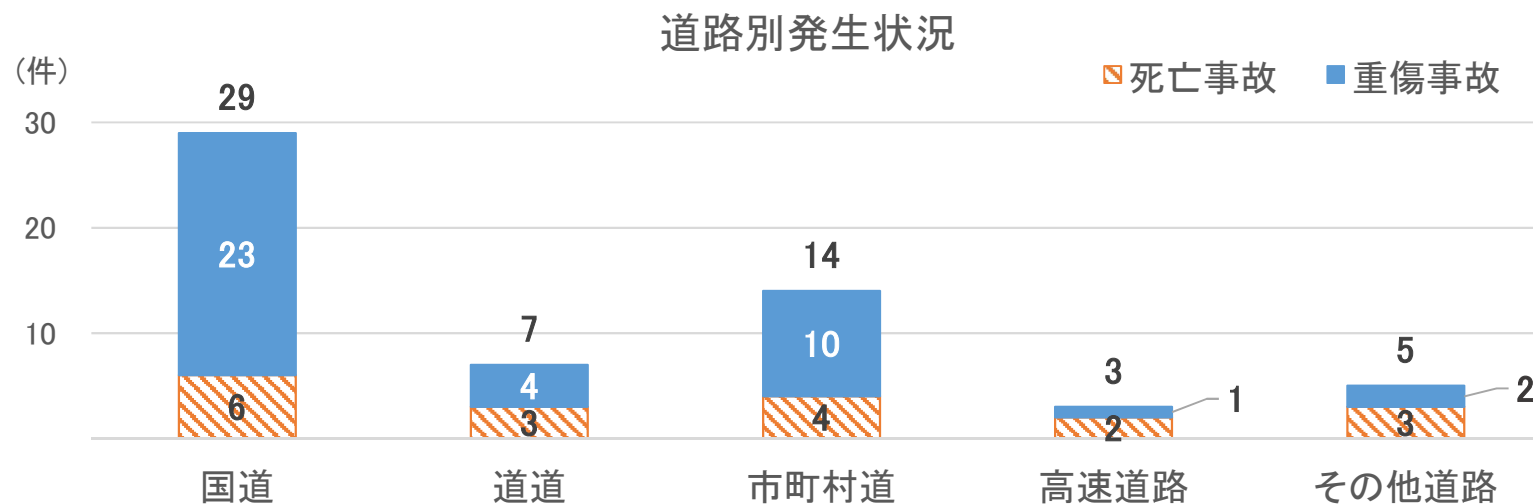
### 3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

非市街地の発生が多く、全体の7割以上を占める。



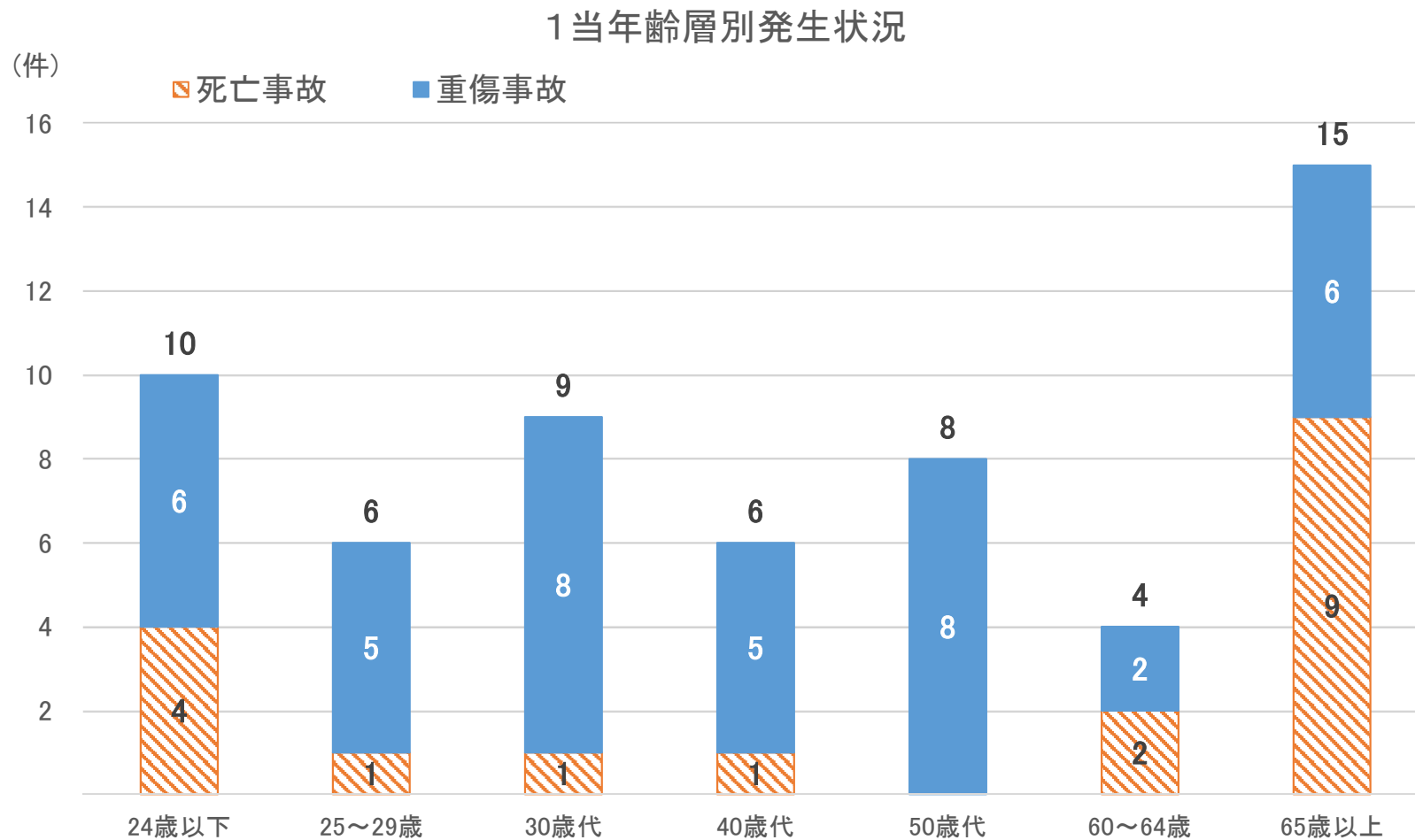
### 3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。



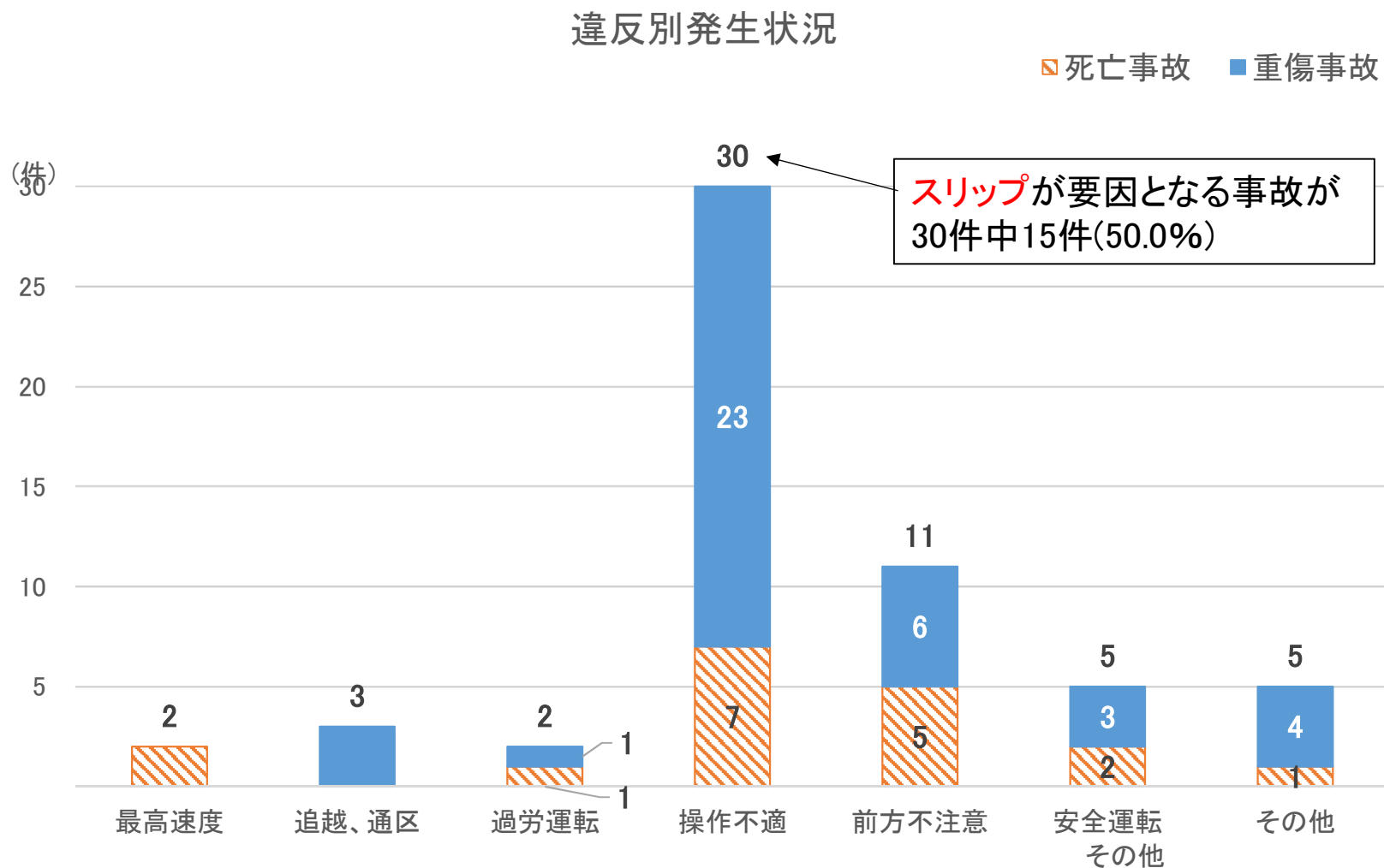
### 3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

65歳以上の高齢運転者が最も多く、次いで24歳以下の若年運転者が多い。



### 3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

操作不適が最も多く、次いで前方不注意が多い。



### 3-6 正面衝突・車両単独におけるスリップ事故の時間帯別発生状況

10時～12時が最も多く、次いで8時～10時が多い。

